

(公財)日本ハンドボール協会

新公式記録用紙対応 スコアシート電算入力の手引き

2016 年から公式記録用紙の変更に伴い、山口県ハンドボール協会では、スコア電算入力を前提とした Excel ファイルを作成し、改良を重ねてきました。以下に入力の手引きをしますが、氏名等のデータは、別ファイルの申込様式(S2002team)をしています。このシステムには保護がかかっています。なお、システムについてのお問い合わせは、山口県ハンドボール協会(ygh2015@yamag-hba.sakura.ne.jp)までお願いします。

1 「入力と①スコア重ね印刷」シート 【外付けのテンキーがあると便利です】

(1) スコア入力シートは「入力と①スコア重ね印刷」シートです。

◎入力の基本順序は、①チーム(A or B)→②背番号→③結果(7mTC、警告等)→④時間(4桁)

◎さらに④で入力した相手チームにも警告・退場等があれば、⑤背番号→⑥結果(7mTC、警告等)

→レフリーのタイミングと順番で入力してください。

例 1) A 7 が退場・レフリータイムアウト(0 0分 5 0秒)、B 2 による 7mスローで再開、成功(得点)

例 2) B に 7mスロー、レフリータイムアウト(〇〇分〇〇秒)、A 7 が退場、B 2 による 7mスローで再開、成功(得点)

そのときの展開にあわせて、チームを A・B どちらにしても入力できます。

7	列	チーム	背番	結果	時	背番	結果
8	1	period			前半		
9	2	最上農業	13	得点	0202		
10	3	+c1 +k1	5	7m失敗	0250	14	警告
11	4	period	14	得点	0344		
12	5	済南学院	5	得点	0437		
13	6	済南学院	13	警告	0530		

○最初は、period を選択し、時間欄に「前半」と入力。スペースを挟んでください。

①プルダウンで、チームを選択します。「c 1」が A チーム、「k 1」が B チームです。選択後にチーム名が表記されます。

②背番号を入力

③結果をプルダウンで選択する。

④時間を 4 桁で入力する。

⑤相手チームの情報もあれば

続けて背番号、結果を入力する。

☆右側にランニングスコアが表記されるので確認してください。

7	列	チーム	背番	結果	時	背番	結果
8	1	period			前半		
9	2	最上農業	13	得点	0202		
10	3	済南学院	5	7m得点 7m失敗 警告 退場 タイムアウト 失格	0250	14	警告
11	4	最上農業	14	得点	0344		
12	5	済南学院	5	得点	0437		
13	6	済南学院	13	警告	0530		
14	7	最上農業	3	得点	0600		
15	8	済南学院	1	得点	0653		
16	9	最上農業	15	得点	0827		

(2) 前半、後半、延長・・・7mTCの終了時には、必ず現在の得点をTDと確認して入力する。

→前半・後半ごとの得点が表記される。未入力の場合は、得点が表示されません。

済南学院							最上農業						
前半	後半	延長1	延長1	延長2	延長2	7mTC	前半	後半	延長1	延長1	延長2	延長2	7mTC
8	11	0	2	1	2	3	8	11	2	0	1	2	4
タイムアウト (直接入力)		1	2	前後	3	警告	タイムアウト (直接入力)		1	2	前後	3	警告
		2146	1439	後	2940	2			2119	2645	前	2729	2

(3) 連続クイックスタートによって、入力が追いつかない場合は、「緊急時得点のみ」入力セルを使用することもできます。入力の際は、Aチーム2番の得点⇒102、Bチーム10番の得点⇒210と入力

さらに続けて時間入力も可能です。入力例Aチーム2番の得点は10分30秒⇒1021030と入力

(4) タイムアウトがあれば、時刻を入力する。2回目のカードには、「前半・後半」を選択する。

また、警告のチーム累積回数が表記されるので、4回目の警告を入力しないようにする。

最上農業							済南学院						
前半	後半	延長1	延長1	延長2	延長2	7mTC	前半	後半	延長1	延長1	延長2	延長2	7mTC
8	20	2	0	1	2	4	8	11	0	2	1	2	3
タイムアウト (直接入力)		1	2	前後	3	警告	タイムアウト (直接入力)		1	2	前後	3	警告
		02:32				2							2

2 公式記録用紙の印刷

(1) 試合前に、「試合情報とサイン用①印刷」シートを公式記録用紙①(主催者用)に印刷する。

→確認サインを受ける。(印刷プレビューで確認してください。)

(2) 試合終了後、「入力と①スコア重ね印刷」シートをサイン入りの公式記録用紙①(主催者用)に追加(重ね)印刷する。※

→用紙セットがずれていないこと。

→審判員、TDに確認サインを受け、簡易スコアシート、使用パソコンと一緒に本部席へ届ける。

※①の追加(重ね)印刷についての注意

(1)で印刷したパソコンと、(2)で印刷するパソコンが異なる場合に印字位置がずれてしまう現象があります。

パソコンのOSバージョンが異なる場合は高い確率でこの現象が生じますのでご注意ください。なお、プリンターが同機種であれば、交換してもずれることはありません。

(3) ②③④完成スコアシート印刷、ランニングスコア印刷は必要な場合に印刷する。

3 参加申込様式(S2002team)について（保護を解除してください。パスワードは設定していません）

(1) チーム名の設定

C5 セルには、チーム名をプルダウンで選択するようにしています。このリストは、K～M 列 39 行目以降を参照しています。K 列に番号、L 列にチームの正式名称、M 列にチーム略名称(全角 6 文字以内)を入力しておく。

・チームの住所や電話番号、校長名等を事前に設定しておくことで、自動入力ができます。(任意設定)

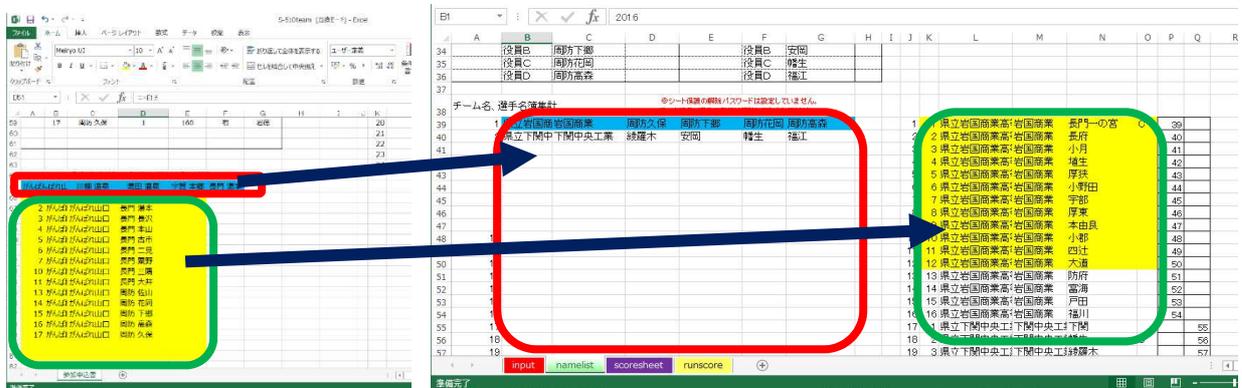
(2) 主将には、「c」を入力します。半角小文字で入力してください。

4 「試合情報とサイン用①印刷」シートに、チーム情報の集計と大会名等の入力

(1) チーム情報の集計

S2002(Excel)は、チームが作成する参加申込書です。選手 16 名、役員 4 名のシート(以後 16)と、選手 20 名、役員 6 名のシート(以後 20)があります。大会規定にあわせてご利用ください。

掲載の際には、使用されるシートのみ編集され、保護をかけて掲載されることをお勧めします。



この申し込み欄の下方にリスト作成用のコピー画面があります。

(16)は、A41～F41 がチーム役員、A42～E57、が選手リスト、(20)は、A46～H46 がチーム役員、A47～E66 が選手リストとして抽出されています。それぞれ選択し、S2106 ファイルの「試合情報とサイン用①印刷」シートにコピーする。コピー先は、役員が B41 以降の B 列に、選手は K41 以降の K～O 列に順次コピーする。ただしコピーの際は「値」として貼り付けすること。

☆このとき、全チームの情報を貼り付けした後、チーム役員欄 A 列の番号を、組み合わせの抽選番号に変更してソート(並べ替え)をしておくと便利です。(選手リストのソートは不要です。)

(2) 大会情報を入力する

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	年月日	2018年		会場名	岩国商業高校体育館						
2		① 9月		大会名	平成30年度山口県高校総体ハンドボール競技						
3		29日		性別	男子						社会人
4		土曜		回戦	② 1	回戦					学生
5	試合番号	商1		都道府県	山口県						高専
6				市町村	岩国市						<input type="radio"/> 高体連
7				オフィシャル席							<input type="checkbox"/> 中体連
8	Aチーム	③ 1	済南学院高校	審判員	新山口						<input type="checkbox"/> 小学生
9			済南学院	審判員	新下関					⑦	
10	Bチーム	④ 2	最上農業高校	TD1	小野田港						
11			最上農業	TD2	柳井港						<input type="checkbox"/> 全国大会
12											<input type="checkbox"/> ブロック大会
13	スロ④				⑥						<input type="radio"/> 都道府県大会
14	延長⑤	3	第1延長→第2延長→7mTC								⑦
15											
16	済南学院	背番号	選手	主将	最上農業	背番号	選手	主将			
17		41	1 長門 一の宮	c		57	1 周防 佐山				
18		42	2 長門 湯本			58	2 周防 花岡				
19		43	3 長門 長沢			59	3 周防 下郷				
20		44	4 長門 本山			60	4 周防 高森				
21		45	5 長門 古市			61	5 周防 久保				
22		46	6 長門 二見			62	6 湯田 温泉	c			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 試合情報とサイン用①印刷 入力と①スロ重ね印刷 ②③④完成スロシート印刷 ランニングスロ印刷 ランニングスロA96 </div>											
準備完了											

- ①日付は、自動入力です。特定の日にしたい場合は、直接入力してください。ただし、以後の入力は手動になります。
- ②「回戦」は、F4 をプルダウンすると回戦・リーグと表記されます。E4 セルの入力とあわせて適切な表現にしてください。F4 セルは非表示にもできます。
- ③チーム番号は、A41 以降のチーム番号を入力すると下表に表示されます。
- ④スロ・オフチームを選択してください。ランニングスコアシートに反映されます。
- ⑤延長設定をプルダウンで選択する。
- ⑥スコアシートの署名欄で、もともと「JHA」の氏名欄でしたが、消去しています。代りに表示させたい場合は、入力できます。
- ⑦種別・大会規模表示以外の場合は、この欄を使用します。国体は種別に「国体」を入力し、○チェックをつける。そして、性別欄に成年男子・少年女子と入力します。

5 その他

(1) 簡易スコアシートによる、手書きによるランニングスコアの作成

→PC クラッシュや入力データの消失、連続クイックスタートによる入力遅延と忘失のために必ず手書きの控えを作成してください。

(2) P D Fによるスコア管理

→個々のファイルには全チームの個人情報が含まれています。スコアが確定した段階で PDF 処理をしてください。

その際には、最終的に 1 ページ目に②③④完成スコアシート(公式記録用紙)、2 ページ目にランニングスコア印刷(ランニングスコア)になるようにしておかれることを推奨します。

(AdobeCS2 をお勧めします。ただし 32bitPC に限ります。64Bit は NG)

(3) 試合中によくあること

①得点の誤入力

→得点は「2 回笛が鳴る！ 3 回目の笛のタイミングが時間入力になる」 ※ラインクロスであれば笛は 1 回

②逆のチームに得点を入力

→操作するオペレーターに性格に合わせて、練習を重ねてください。

→T Dに確認をする。T Dからオペレーターに声をかけることも重要です。

③選手背番号の見落とし、忘失、誤入力

→T Dとよく連携して、オフィシャル席の役員全員と情報共有できるように努めること。

④連続クイックスタート

→『得点管理が最優先』 何が何でも。入力遅延と忘失が最大の課題です。

→時間入力は、前後半終了後でも構いません。

→そのシュートが得点なのかをレフェリーの笛とジェスチャーで判断する。